

# D・R・S・Rに103人

## 他社員の範となるP A社員を認定

### 富士火災 P Aクラブ員認定総会開く

富士火災は11月10日、横浜市西区の横浜ベイシエラトンホテル&タワースでP A（プロフェッショナルアドバイザー）クラブ員認定総会を開催した。P Aは同社直販社員組織で、人格・識見を備え、会社施策への貢献度、成績などを勘案し、他の社員の範と認められた社員に、個々の業績に応じてD（ダイヤモンド）クラブ員、R（ロイヤル）クラブ員、S R（スーパーロイヤル）クラブ員の称号が与えられる。今年度はDクラブ員、Rクラブ員、S Rクラブ員合わせて103人を認定した。

冒頭、あいさつした横 同社の上半期の決算状況 災の駆け込み需要などに  
山隆美社長兼CEOは、 について触れ、「長期火 よって元受正味保険料が



横山社長兼CEO



ホール氏



山中理事

増収している他、コンバインド・レシオは90・8%となっており、経営は安定軌道に入っている。一方、長期火災が売り止めになることを踏まえ、長期火災への依存から脱却した営業展開が今後の課題だ」との認識を示した。

また、P Aクラブ員と

非P Aクラブ員のA N P 員への今後の期待とし  
などを比較した上で、P て、募集規制強化への対



認定証を受け取るP A社員

Aクラブ員が業績を大きくけん引していることを説明。その上で、P Aクラブ

員への今後の期待とし、募集規制強化への対応や効率的営業のリード、S M E（中小企業）マーケットの拡大を挙げた。

続いて、A I G ジャパン・ホールディングスのチーフ・ディストリビュー

その後、P Aクラブ員チャレンジ層中心のメンバーを集めたゴールド倶楽部認定会議が開催され、メンバーによる取り組み発表などが行われた。

ーシオン・オフィサーであるラリック・ホール氏があいさつし、「P Aクラブ員は富士火災における全地域本部の代表だ。こうしたプロフェッショナルなプロデューサーが日本全国で経済的な安心を顧客に届けていることを誇りに思う」と述べる

記講演では、一般社団法人公的保険アドバイザー協会の山中伸枝理事（アセット・アドバイザー社長）が、公的保険制度の内容を十分に理解することの重要性について解説した他、ねんきん定期便を活用した保険販売方法を紹介した。

クラブ員の認定表彰では、初認定20人を含むDクラブ員61人、昇格6人を含むRクラブ員25人、昇格7人を含むS Rクラブ員17人を表彰した。また、初認定者や昇格者、連続認定者、新人賞、優秀賞を獲得したP A社員に表彰状と記念品を授与した。